



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東
コード番号 6863 URL <https://www.nireco.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中杉 真一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 佐々田 卓也 TEL 042-642-3111
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,041	10.8	1,035	50.3	1,117	47.5	775	55.1
2023年3月期第3四半期	6,357	5.4	688	87.6	757	72.2	499	74.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,142百万円 (66.3%) 2023年3月期第3四半期 687百万円 (53.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	105.43	103.70
2023年3月期第3四半期	68.22	67.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,629	15,432	86.9
2023年3月期	17,002	14,605	85.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 15,328百万円 2023年3月期 14,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	29.00	47.00
2024年3月期	—	20.00	—		
2024年3月期（予想）				39.00	59.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	9.2	1,400	18.4	1,500	19.4	950	10.4	129.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想の修正の詳細については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想
などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	7,735,849株	2023年3月期	7,715,249株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	359,137株	2023年3月期	385,637株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	7,357,517株	2023年3月期3Q	7,329,612株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収支や雇用・所得環境の改善の下、個人消費の持ち直しが見られるなど緩やかな回復基調となりました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先である鉄鋼、電子部品、化学、半導体、印刷・紙加工、食品など各メーカーの設備投資は、業種により強弱はあるものの一定の回復基調が続きました。一方、一部製品分野では、米中関係の地政学的な競争環境の高まりや中国経済の変調による影響を受けました。

このような状況の下、当社グループはいかなる環境下においても成長できる企業グループの実現を目指し、当社グループのコア技術である画像処理、センシング及び光学技術の強化を進めるとともに、顧客需要の取り込みに努めました。

また、今後のグループにおける電子機器等の生産能力拡大や、新規事業及び光学機器に係る開発・生産などの拠点として活用すべく八王子市檜原町に土地の取得を行ったほか、グループ内の連携強化と今後の一層の業務効率化を図るため、2023年12月25日開催の取締役会において、2024年4月1日を効力発生日として、完全子会社であるミヨタ精密株式会社の吸収合併を決議しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高7,041百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益1,035百万円（前年同期比50.3%増）、経常利益1,117百万円（前年同期比47.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益775百万円（前年同期比55.1%増）となりました。また、受注残高は6,256百万円（前期末比17.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① プロセス事業

売上高 1,793百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益 297百万円（前年同期比47.0%増）、
受注残高 2,359百万円（前期末比38.7%増）

鉄鋼メーカー向けの販売活動において新規取扱製品も含めた販売活動が奏功し、受注及び売上高は前年同期比で増加しました。利益面においても、売上高の増加や収益性の高い製品の販売増から、前年同期比で増加しました。

② ウェブ事業

売上高 2,232百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益 400百万円（前年同期比55.9%増）、
受注残高 1,446百万円（前期末比9.4%減）

二次電池製造装置業界向けなどを中心に主力製品である耳端位置制御装置の受注に落ち着きがみられるものの、高水準の期初受注残高や産業界の設備投資回復を背景に売上高は前年同期比で増加しました。利益面においても、売上高の増加や収益性の高い製品の販売増などを受け前年同期比で増加しました。

③ 検査機事業

売上高 1,205百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益 147百万円（前年同期比472.7%増）、
受注残高 822百万円（前期末比19.5%減）

二次電池製造装置業界向けの無地検査装置分野の一部で設備投資に遅れがあったものの、食品検査装置を含め全般的には堅調な推移となり、売上高は前年同期比で増加しました。利益面においては、収益性の高い製品の販売増などを受け前年同期比で増加しました。

④ オプティクス事業

売上高 1,395百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益 574百万円（前年同期比3.2%増）、
受注残高 1,467百万円（前期末比80.3%増）

半導体製造・検査装置業界向け光学部品の受注に落ち着きがみられたものの、半導体検査装置向けレーザ光源の受注が増加しました。売上高は、高水準の期初受注残高を背景に前年同期比で増加しました。また、利益面においても、売上高の増加を受け前年同期比で増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べて627百万円増加して17,629百万円となりました。

これは主に現金及び預金の減少273百万円があったものの、原材料及び貯蔵品の増加458百万円、投資有価証券の増加334百万円による資産の増加があったことによります。

また、負債は前連結会計年度末に比べて199百万円減少して2,197百万円となりました。

これは主に未払法人税等の減少245百万円による負債の減少があったことによります。

純資産は前連結会計年度末に比べて827百万円増加して15,432百万円となりました。

これは主に配当金の支払360百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益775百万円の計上、その他の有価証券評価差額金の増加270百万円による純資産の増加があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、収益改善努力の奏功や原価率が想定を下回ったことなどにより、利益が予想を上回ることが見込まれることから、本日以下の修正を行っております。

また、本日発表の通り、当社では株主還元方針を見直し、株主還元の目標値を連結配当性向45%以上かつ連結株主資本配当率(DOE)2.5%以上としたことから、期末配当金の予想額を従来予想の28円から39円に変更いたしました。これにより、年間配当金については、従来予想の48円から59円に変更となります。

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	1,190	1,260	870	118.70
今回発表予想(B)	10,000	1,400	1,500	950	129.12
増減額(B-A)	0	210	240	80	-
増減率(%)	0.0%	17.6%	19.0%	9.2%	-
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	9,155	1,182	1,255	860	117.40

2024年3月期期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2023年5月12日公表)	-	28円00銭	48円00銭
今回修正予想	-	39円00銭	59円00銭
当期実績	20円00銭	-	-
前期実績 (2023年3月期)	18円00銭	29円00銭	47円00銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,381,800	4,108,212
受取手形、売掛金及び契約資産	3,310,908	3,087,641
電子記録債権	714,464	705,361
有価証券	24,587	30,819
商品及び製品	1,133,812	1,213,769
仕掛品	979,327	897,928
原材料及び貯蔵品	948,969	1,407,587
その他	131,354	175,190
貸倒引当金	△5,355	△4,415
流動資産合計	11,619,868	11,622,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,578,180	1,621,770
機械装置及び運搬具（純額）	167,635	175,751
工具、器具及び備品（純額）	138,463	143,570
土地	1,365,172	1,681,353
建設仮勘定	6,278	11,313
有形固定資産合計	3,255,731	3,633,758
無形固定資産		
のれん	61,937	47,644
リース資産	13,662	16,216
その他	165,741	130,753
無形固定資産合計	241,341	194,614
投資その他の資産		
投資有価証券	1,663,844	1,998,465
長期貸付金	36,535	29,068
繰延税金資産	45,889	37,456
破産更生債権等	19,009	19,009
その他	182,841	160,306
貸倒引当金	△62,741	△64,913
投資その他の資産合計	1,885,379	2,179,392
固定資産合計	5,382,453	6,007,765
資産合計	17,002,322	17,629,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	449,830	422,310
1年内返済予定の長期借入金	54,161	21,545
リース債務	5,247	5,985
未払費用	507,771	337,659
未払法人税等	357,802	112,697
未払消費税等	88,828	67,849
契約負債	173,190	269,979
役員賞与引当金	37,900	28,350
工事損失引当金	31,649	38,636
その他	133,642	254,571
流動負債合計	1,840,025	1,559,585
固定負債		
長期借入金	166,054	138,625
リース債務	9,015	10,721
長期未払金	9,349	—
繰延税金負債	201,908	302,504
役員退職慰労引当金	98,990	99,809
退職給付に係る負債	71,851	58,045
資産除去債務	—	28,306
固定負債合計	557,170	638,013
負債合計	2,397,195	2,197,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,084,630
資本剰余金	4,120,511	4,132,789
利益剰余金	6,795,009	7,212,222
自己株式	△270,634	△252,037
株主資本合計	13,717,239	14,177,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639,255	909,268
為替換算調整勘定	197,865	272,674
退職給付に係る調整累計額	△50,765	△30,709
その他の包括利益累計額合計	786,356	1,151,233
新株予約権	87,022	87,083
非支配株主持分	14,508	16,341
純資産合計	14,605,126	15,432,263
負債純資産合計	17,002,322	17,629,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,357,270	7,041,950
売上原価	3,894,181	4,192,066
売上総利益	2,463,088	2,849,883
販売費及び一般管理費	1,774,275	1,814,566
営業利益	688,813	1,035,317
営業外収益		
受取利息	5,985	4,982
受取配当金	46,673	68,759
その他	20,116	12,277
営業外収益合計	72,775	86,019
営業外費用		
支払利息	2,471	1,951
固定資産除却損	0	657
リース解約損	—	803
その他	1,462	562
営業外費用合計	3,934	3,975
経常利益	757,654	1,117,361
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,398
特別利益合計	—	12,398
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	21,999
特別損失合計	—	21,999
税金等調整前四半期純利益	757,654	1,107,759
法人税等	258,981	331,030
四半期純利益	498,672	776,729
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,319	1,034
親会社株主に帰属する四半期純利益	499,992	775,694

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	498,672	776,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,827	270,012
為替換算調整勘定	97,344	75,607
退職給付に係る調整額	△22,719	20,056
その他の包括利益合計	188,452	365,675
四半期包括利益	687,125	1,142,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	687,956	1,140,571
非支配株主に係る四半期包括利益	△831	1,832

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	オプティク ス事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	1,554,014	1,924,845	1,100,781	1,345,684	5,925,324	431,946	6,357,270	—	6,357,270
セグメント間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,554,014	1,924,845	1,100,781	1,345,684	5,925,324	431,946	6,357,270	—	6,357,270
セグメント 利益	202,226	256,650	25,697	556,851	1,041,424	26,794	1,068,218	△379,405	688,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△379,405千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	オプティク ス事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	1,793,660	2,232,235	1,205,987	1,395,212	6,627,094	414,856	7,041,950	—	7,041,950
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,793,660	2,232,235	1,205,987	1,395,212	6,627,094	414,856	7,041,950	—	7,041,950
セグメント 利益	297,281	400,181	147,172	574,841	1,419,475	43,615	1,463,090	△427,773	1,035,317

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△427,773千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。